

プロジェクトリーダー:瀬戸市立図書館

事業実績調書

(1) プロジェクト名	図書館連携事業ビブリオバトル
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	
<p>コンソーシアム加盟大学の学生が、若い感性を活かしてイベントの運営を行い、図書館事業を活性化させた。運営委員の学生は、地域社会と関わり、イベント運営をするという普段の学生生活とは違った体験を、自らの成長につなげる機会とすることができた。</p> <p>また、さまざまな年代の参観者を獲得し、幅広い層に読書の魅力を発信することができた。これらのことから、本を介した異世代交流が生まれ、図書館や読書の魅力が地域社会に再認識されたと考えている。</p>	
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
4月1日～	学生運営委員の募集 学生運営委員の決定
6月14日	愛工大2名、金城大3名、名学院大2名、南山大2名
5月10日	プロジェクトメンバー打ち合わせ ＜会場＞ 図書館2階 ボランティア室 ＜参加者＞ プロジェクトメンバー6名 ＜内容＞ スケジュール、学生運営委員の活動内容、開催内容、広報方法等
6月26日	第1回学生運営委員会 ＜会場＞ 瀬戸市立図書館 集会室 ＜参加者＞ 学生9名 ＜内容＞ 顔合わせ、活動内容の確認、広報方法の検討等
7月20日	「東区高校生ビブリオバトル2019」視察 ＜会場＞ 市民ギャラリー矢田 ＜参加者＞学生5名、プロジェクトメンバー1名 ＜内容＞ 県内の類似大会の視察
8月21日	第2回学生運営委員会 ＜会場＞ 瀬戸市立図書館 事務室 ＜参加者＞ 学生8名 ＜内容＞ ルールの確認、当日の流れ、準備するもの、役割分担等
11月17日	「ビブリオバトル in 瀬戸市立図書館 2019」 ＜会場＞図書館 集会室 ＜参加者＞56名 内訳：学生運営委員9名、発表者6名（加盟大学学生3名、高校生3名）、事務局7名、参観者34名 ＜内容＞ビブリオバトルの実施

11月17日 第2回プロジェクトメンバー打ち合わせ

<会場> 図書館1階 集会室 <参加者> プロジェクトメンバー9名

<内容> 反省事項等

2月20日 2019年度「大学コンソーシアムせと」活動成果報告会

<会場> 瀬戸蔵4階 多目的ホール <発表者> 学生運営委員 1名

<内容> 今年度事業の活動成果報告

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

瀬戸市立図書館では、5年間継続してビブリオバトルを開催し年々発表者や参観者を増やし、催事として定着させることが出来た。今後も継続して開催し、地域社会に読書や図書館の魅力を発信する機会としたい。

また、国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」によると、小中学生の不読率は改善傾向にあるが、高校生の不読率は依然として高い状況にあるとされており、高校生を含む若年層の読書への関心を高める取り組みは急務である。今後は、PR方法の改善だけでなく、「ビブリオバトル」自体の認知度や関心を高める取り組みを行い、若年層の来場者数増加を目指したいと考えている。